

平成17年度北海道ブロック水産業関係試験研究推進会議・増養殖部会報告書

会議責任者	北海道区水産研究所長
-------	------------

1. 開催日時及び場所 日時：平成17年11月15日（木）13：30～17：00
 場所：KKR札幌（札幌市中央区北4条西5丁目1）

2. 出席者所属機関及び人数 10機関20名

3. 結果の概要

議 題	結 果 の 概 要
開 会	海区水産業研究部長が開会の宣言が行い、以下の議事進行を行った。
挨 拶	所長から本会議の主旨は具体的な研究の情報交換を緊密にし、水域の水産研究を効率的に進めることとの説明があった。また、水研では現在、中期計画見直しを行っており、目に見える形での地域貢献を求められているとの紹介があった。
議 事	
(1) 報告事項	海区水産業研究部長から、資料にそって情勢報告、ランドデザインについて説明を行った（栽培センターの課題も含む）。資源培養研の次期交付金一般研究の小課題はニシンとマツカワのどちらかとなるという説明を行った。これに対し、稚内水試増殖部長から石狩湾系ニシンに関する研究の現状報告がなされ、北水研によるニシン研究の推進に期待感が表明された。
1) 調査研究を巡る情勢	
2) 研究課題情報	海区水産業研究部長から、道水試を中心とした課題の現状分析がなされ、個々の研究課題について内容確認を行った後に、情報交換がなされた。この中で、網走水試増殖部長からホタテ貝種苗の足糸部異常（黒いカサブタ様のもの）が問題になっているとの報告があった。また、中央水試増殖部長から、ホタテ貝に対する疾病対策が求められているとの報告があった。ホタテ貝に対するこれらの報告を受け、北水研として情報の収集、対策等予算の確保に向け検討することとなった。
3) 連絡会議等活動報告	・マツカワランチング連絡会議活動状況報告 マツカワ栽培漁業高度化のための標記連絡会議における活動状

